1人しか出せない吉川区の代表どの人にたくすか? "よく見くらべて

吉川区の代表として3年間仕事をしてきた**現職**(日本共産党)と**相手の方**と、 どこがちがうのか、言っていることとやっていることでよく見くらべてください。

1

吉川区のみなさんの願いにたって 市にも国にもハッキリものいえる人を

いまみんなが怒っている「後期高齢者医療制度」で見ると…



現職は

□□ 展上めざしてがんばります

564の地方議会で「中止」などの意見書が採択、多くの医師会も「反対」を表明。国会では、野党4党が「廃止法案」をだし、参議院では多数派です。

現職は「廃止すべきだ」と主張。現職への 支持は、廃止の流れをつよく、太くします。 相手の方は「制度は必要」と主張…

後期高齢者医療制度は「必要」と主張。「若い人たちのため」といいますが、後期高齢者医療制度の発足により、上越市は国保税の大幅な値上げ、多くの健康保険組合も負担増。団塊世代の加入時は2倍をこえる負担に。この制度は国の負担を減らすために、お年寄りにも、若い人たちにも負担増を強いる制度です。

2

願い実現へ党派をこえて力をあわせる人でこそ

現職の訴えより

・古川の代 表は、たった

1人です。吉川区内には自民党支持の 方も、公明党、民主党、社民党支持の 方もいます。

どの党派支持の方々の願いも受けと

め、その声を聞いて、市政に届けなければなりません。宗派とか党派で差別したらダメです。中越沖震災対策でも、どの党派の人とも、ともに問題解決にあたってきました」。





誠実で、事実にたってスジを通してきました

現職の誠実な人柄は、誰もが認めています。

相手の方は「事実とちがう」と指摘されて、「共産党ではお金がこない」とか、「なんでも反対で民意が割れる」とかを、公然と言えなくなりました。

現職は最後まで、実績と政策を正々堂々と訴えます

吉川民報

2008年4月 号外日本共産党吉川支部

日本共産党吉川支部の見解をお知らせします。 ご意見・ご感想をお寄せください。 【連絡先】 548-2990